

令和6年度第1回静岡市立芹沢銈介美術館協議会

日時 令和6年9月7日（土）
午前10時から

会場 登呂博物館1階交流ホール

次 第

1 開 会

2 議 事

- （1）令和5年度入館者状況について
- （2）令和6年度事業について
- （3）その他

3 事務連絡

4 閉 会

令和6年度 第1回
静岡市立芹沢銈介美術館協議会

静岡市 観光交流文化局 文化振興課
芹沢銈介美術館

令和5年度 展覧会別入館者状況

企画展名	期間	開催日数	入館者数	1日平均	観覧料収入
芹沢銈介の絵本と挿絵	4/4～6/18	66 日	7,838 人	119 人	1,268,790 円
暮らしにとけこむ型染	7/4～9/24	72 日	8,949 人	124 人	1,665,880 円
芹沢銈介ののれん	10/7～12/10	55 日	7,183 人	131 人	1,402,940 円
芹沢銈介の収集 海外篇	1/4～3/17	64 日	6,955 人	109 人	1,315,520 円

ワークショップ

(夜間開館、お二階拝見、講演会等)

参加者数

346 人

	開館日数	入館者数	1日平均	観覧料収入
令和5年度入館者	257 日	30,925 人	120 人	5,653,130 円

【参考】

令和4年度入館者	252 日	32,363 人	128 人	5,888,470 円
----------	-------	----------	-------	-------------

展覧会別入館者数

回	年度	展覧会名	区分	会期	開館日数(日)	入場者数(人)	一日平均(人)
1	昭和56	開館記念展	特別展	S56.6.15 ~ S56.11.23	132	47,874	363
2		東アジアの工芸	通常展	S56.12.1 ~ S57.6.9	147	38,996	265
3	昭和57	西アジア・ヨーロッパの工芸	通常展	S57.6.15 ~ S58.1.24	173	45,870	265
4		日本の染織Ⅰ	通常展	S58.2.1 ~ S58.5.25	94	29,049	309
5	昭和58	日本の染織Ⅱ	通常展	S58.6.1 ~ S58.9.25	98	26,397	269
6		日本の染織Ⅲ	通常展	S58.10.1 ~ S59.1.25	89	19,923	224
7		中南米の工芸	通常展	S59.2.1 ~ S59.6.3	104	33,355	321
8	昭和59	追悼 芹沢銈介	特別展	S59.6.12 ~ S59.8.30	67	24,999	373
9		アフリカの工芸	通常展	S59.9.11 ~ S59.12.20	82	18,843	230
10		日本の民画	通常展	S60.1.4 ~ S60.5.25	143	28,841	202
11	昭和60	民族衣装	通常展	S60.6.1 ~ S60.9.23	97	23,941	247
12		世界の民画	通常展	S60.10.1 ~ S61.1.24	88	18,350	208
13		世界の木工	通常展	S61.2.1 ~ S61.6.3	101	27,495	272
14	昭和61	開館5周年記念 芹沢銈介の模様と文字	特別展	S61.6.13 ~ S61.8.31	68	17,329	255
15		世界の本と仮面	通常展	S61.9.10 ~ S61.12.10	77	18,720	243
16		日本の陶器と人形	通常展	S61.12.18 ~ S62.5.24	123	28,159	229
17	昭和62	日本の染織Ⅰ	通常展	S62.6.3 ~ S62.9.23	95	21,070	222
18		世界の陶器	通常展	S62.10.2 ~ S63.1.17	87	16,479	189
19		日本の染織Ⅱ	通常展	S63.1.28 ~ S63.5.29	103	25,581	248
20	昭和63	李朝の世界	通常展	S63.6.9 ~ S63.9.25	91	19,186	211
21		インドの染織	通常展	S63.10.6 ~ H1.2.19	109	20,704	190
22		インドネシアの染織	通常展	H1.3.2 ~ H1.6.25	100	21,000	210
23	平成元	静岡市100周年記念 芹沢銈介の創造	特別展	H1.7.7 ~ H1.9.3	51	9,429	185
24		中南米の工芸	通常展	H1.9.15 ~ H2.1.21	102	16,535	162
25		アフリカの工芸	通常展	H2.2.2 ~ H2.5.27	98	22,259	227
26	平成2	日本のくらし ―藍と漆―	通常展	H2.6.8 ~ H2.9.2	74	14,430	195
27		東南アジアの工芸	通常展	H2.9.14 ~ H2.12.9	72	14,987	208
28		日本の絵とおもちゃ	通常展	H3.1.2 ~ H3.5.26	124	31,677	256
29	平成3	開館10周年記念 芹沢銈介の絵と書	特別展	H3.6.7 ~ H3.9.2	77	14,856	193
30		いろんな国のいろんな仮面	通常展	H3.9.15 ~ H4.1.19	100	18,589	186
31		緋の模様に注目	通常展	H4.2.1 ~ H4.5.24	96	21,702	226
32	平成4	箱百態	通常展	H4.6.5 ~ H4.9.27	96	18,374	191
33		不思議派絵画―李朝民画の世界―	通常展	H4.10.9 ~ H5.1.17	75	12,154	162
34		線の魅力 簡描のわざ	通常展	H5.1.29 ~ H5.5.30	102	20,624	202
35	平成5	台湾山地民族の工芸	通常展	H5.6.11 ~ H5.9.26	88	14,731	167
36		アイヌの意匠	通常展	H5.10.8 ~ H6.1.16	78	13,285	170
37		緋さまざま	通常展	H6.1.28 ~ H6.5.28	104	20,300	195
38	平成6	アフリカの工芸	通常展	H6.6.10 ~ H6.10.16	108	19,288	179
39		民画の美	通常展	H6.10.28 ~ H7.2.19	89	12,703	143
40		沖縄の工芸―南島の彩り―	通常展	H7.3.3 ~ H7.6.29	101	19,507	193

展覧会別入館者数

回	年度	展覧会名	区分	会期	開館日数(日)	入場者数(人)	一日平均(人)
41	平成7	生誕百年記念 芹沢銈介ー春夏秋冬ー	特別展	H7.7.13 ～ H7.9.26	64	26,960	421
42		祈りの情景	通常展	H7.10.6 ～ H8.1.28	89	14,459	162
43		芹沢銈介の身边ー家具ー	通常展	H8.2.9 ～ H8.5.26	91	18,656	205
44	平成8	日本の仕事着	通常展	H8.6.14 ～ H8.9.23	88	13,901	158
45		土と炎の造形ー東洋のやきものー	通常展	H8.10.4 ～ H9.1.26	87	10,149	117
46		ふる里の古人形	通常展	H9.2.7 ～ H9.5.25	89	13,817	155
47	平成9	衣裳づくし	通常展	H9.6.6 ～ H9.9.23	94	12,904	145
48		染織の源流 インドの魅惑	通常展	H9.10.4 ～ H10.1.25	88	9,997	114
49		中南米・古代の遺産	通常展	H10.2.6 ～ H10.5.26	90	12,723	141
50	平成10	木と漆のある暮らし	通常展	H10.6.5 ～ H10.9.23	93	11,609	125
51		芹沢銈介の身边ー絵本とおもちゃー	通常展	H10.10.4 ～ H11.1.24	86	10,194	118
52		世界の民族衣裳	通常展	H11.2.5 ～ H11.6.13	108	15,967	146
53	平成11	藍染めの美しさ	通常展	H11.6.25 ～ H11.9.23	75	10,501	140
54		芹沢銈介と李朝の文物	通常展	H11.10.5 ～ H12.1.23	85	8,887	105
55		信仰のかたち	通常展	H12.2.4 ～ H12.5.28	98	11,433	117
56	平成12	アフリカの民族造形	通常展	H12.6.9 ～ H12.9.17	85	8,776	103
57		世界の陶器	通常展	H12.10.7 ～ H13.1.21	82	7,682	94
58		芹沢銈介 のれん	通常展	H13.2.3 ～ H13.6.24	120	13,460	113
59	平成13	開館20周年記念 芹沢銈介と棟方志功	特別展	H13.7.14 ～ H13.9.16	56	12,534	224
60		芹沢銈介の本の世界	通常展	H13.9.28 ～ H13.12.2	55	4,893	120
61		芹沢銈介と沖縄	通常展	H14.1.12 ～ H14.5.26	113	14,667	130
62	平成14	芹沢銈介と旅	通常展	H14.6.8 ～ H14.9.1	73	6,768	93
63		アイヌ 大地の模様	通常展	H14.9.14 ～ H14.12.8	73	7,209	99
64		芹沢銈介 もう一つの創造ー日本篇ー	通常展	H15.1.4 ～ H15.5.25	119	12,182	102
65	平成15	新「静岡市」誕生記念 芹沢銈介ー布染め 心染めー	特別展	H15.6.14 ～ H15.8.31	67	5,972	89
66		アジアの華-台湾・インドネシアの染織-	通常展	H15.9.13 ～ H15.12.7	73	6,553	90
67		芹沢銈介 もう一つの創造ー海外篇ー	通常展	H16.1.4 ～ H16.5.23	118	10,702	91
68	平成16	日本の藍染め	通常展	H16.6.5 ～ H16.9.5	79	6,779	86
69		芹沢銈介が集めた仮面	通常展	H16.9.18 ～ H16.12.12	70	6,095	87
70		芹沢銈介の集めた椅子	通常展	H17.1.4 ～ H17.5.22	118	10,695	91
71	平成17	絵馬とアイコン	通常展	H17.6.4 ～ H17.9.4	79	5,494	69
72		芹沢銈介のたからもの	通常展	H17.9.17 ～ H17.11.27	59	5,641	96
73		朝鮮の民画	通常展	H18.1.28 ～ H18.5.21	96	8,117	85
74	平成18	開館25周年記念展「不思議の国・沖縄と芹沢銈介」	特別展	H18.6.10 ～ H18.9.3	74	6,508	87
75		好きなものと暮らすⅠー染織と木工ー	通常展	H18.9.16 ～ H18.12.10	73	5,408	74
76		好きなものと暮らすⅡー人形と絵画ー	通常展	H19.1.4 ～ H19.3.4	52	3,848	74
77		ロシア国立エルミタージュ美術館からの帰国記念展	通常展	H19.3.17 ～ H19.5.13	49	8,110	166
78	平成19	好きなものと暮らすⅢー家具と陶磁器ー	通常展	H19.6.2 ～ H19.9.2	80	6,022	75
79		古き日本の面影ーアイヌと沖縄の染織ー	通常展	H19.9.15 ～ H19.11.25	62	4,686	76
80		芹沢銈介の生活デザイン	通常展	H20.1.26 ～ H20.5.18	96	7,842	82

展覧会別入館者数

回	年度	展覧会名	区分	会期	開館日数(日)	入場者数(人)	一日平均(人)
81	平成20	藍・さわやかな和染めの世界	通常展	H20.6.7 ~ H20.8.31	74	6,297	85
82		きたえぬかれた「魔法の手」芹沢銈介の肉筆画	通常展	H20.9.13 ~ H20.12.7	73	4,982	68
83		躍動するかたち アフリカの造形	通常展	H21.1.4 ~ H21.5.17	113	7,921	70
84	平成21	型絵染の骨格 芹沢銈介の型紙	通常展	H21.6.6 ~ H21.8.30	74	5,169	70
85		芹沢銈介が集めた世界の絵画	通常展	H21.9.12 ~ H21.12.6	73	4,982	68
86		芹沢銈介の名作－花ヨリモ花 染メノ花－	通常展	H22.1.5 ~ H22.5.16	112	7,978	71
87	平成22	ぬくもりのあるかたち－芹沢銈介が選んだ木エ－	通常展	H22.6.5 ~ H22.8.29	74	4,572	62
88		芹沢銈介のブック・デザイン	通常展	H22.9.11 ~ H22.12.5	71	6,016	85
89		ひろがる色と模様 芹沢銈介の屏風	通常展	H23.1.4 ~ H23.5.15	113	7,071	63
90	平成23	開館30周年記念展Ⅰ 巨匠・芹沢銈介－作品でたどる88年の軌跡－	通常展	H23.6.4 ~ H23.8.28	74	6,641	90
91		開館30周年記念展Ⅱ あつめるよろこび－芹沢銈介の収集の世界－	通常展	H23.9.17 ~ H23.12.4	66	4,925	75
92		開館30周年記念展Ⅲ 暮らしにとけこむデザイン－デザイナー・芹沢銈介の仕事－	通常展	H24.1.4 ~ H24.5.13	113	8,984	80
93	平成24	シリーズ・芹沢銈介の作品と収集Ⅰ 手のひらの上の宇宙－芹沢銈介の絵本と世界の書籍－	通常展	H24.6.2 ~ H24.9.2	80	4,882	61
94		シリーズ・芹沢銈介の作品と収集Ⅱ 身にまとうよろこび－芹沢銈介の着物と世界の民族衣装－	通常展	H24.9.11 ~ H24.10.21	36	3,399	94
95		北海道・東北・静岡巡回展 芹沢銈介	通常展	H24.11.1 ~ H24.12.16	40	2,772	69
96		シリーズ・芹沢銈介の作品と収集Ⅲ 小さきものへのまなざし－芹沢銈介の構図・書票と、世界の人形・小布－	通常展	H25.1.4 ~ H25.5.12	111	7,715	70
97	平成25	シリーズ・芹沢銈介の作品と収集Ⅳ はたらく色 藍のすこやかさ－芹沢銈介ののれんと世界の藍染め－	通常展	H25.6.1 ~ H25.9.1	80	5,249	66
98		シリーズ・芹沢銈介の作品と収集Ⅴ 歩く、描く、集める－芹沢銈介の旅－	通常展	H25.9.14 ~ H25.12.8	74	4,474	60
99		芹沢銈介没後30年記念 ふるさとへの思い－芹沢銈介の日本－	通常展	H26.1.4 ~ H26.5.11	110	7,722	70
100		静岡市立芹沢銈介美術館 展覧会100回記念 静岡が誇る「たからばこ」 芹沢銈介美術館の歩み	通常展	H26.5.31 ~ H26.8.31	81	5,485	68
101	平成26	蒐集家・芹沢銈介－選択という名の創造－	通常展	H26.9.13 ~ H26.12.7	73	5,390	74
102		芹沢銈介生誕120年記念展 柳宗悦と芹沢銈介－美と暮らしがとけあう世界へ－	通常展	H27.1.4 ~ H27.5.10	109	9,681	89
103	平成27	芹沢銈介生誕120年記念展② 芹沢銈介の絵ごころ －芹沢の肉筆画と、西アジア・ヨーロッパのやきもの－	通常展	H27.5.30 ~ H27.8.30	81	4,903	61
104		芹沢銈介生誕120年記念展③ 暮らしに生きる文字 －芹沢銈介の文字絵と朝鮮民画－	通常展	H27.9.12 ~ H27.11.15	55	3,941	72
105		芹沢銈介生誕120年記念展④ 静岡市立芹沢銈介美術館・静岡市美術館共同企画 しあわせの色 たのしい模様	通常展	H27.12.5 ~ H28.3.13	76	6,613	87
106		布と模様のハーモニー －芹沢銈介の着物とアンデスの染織－	通常展	H28.4.9 ~ H28.7.3	75	5,761	77
107	平成28	書物のよそおい －芹沢銈介のブックデザイン－	通常展	H28.7.16 ~ H28.11.27	113	7,058	62
108		開館35周年記念展 パリのセリザワ －「Serizawa」展から40年－	通常展	H28.12.10 ~ H29.3.20	80	5,186	65
109	平成29	芹沢銈介と沖縄 －明るく、静かで、深いもの－	通常展	H29.4.6 ~ H29.7.2	76	5,277	69
110		のれん －芹沢銈介の原点－	通常展	H29.7.15 ~ H29.11.26	115	7,646	66
111		芹沢銈介の収集 －手仕事の世界地図－	通常展	H29.12.12 ~ H30.3.18	76	4,182	55

展覧会別入館者数

回	年度	展覧会名	区分	会期	開館日数(日)	入場者数(人)	一日平均(人)
112	平成30	芹沢銈介の四季	通常展	H30.4.10 ～ H30.7.1	72	4,732	66
113		芹沢銈介のイラストレーション	通常展	H30.7.15 ～ H30.11.25	115	6,786	59
114		芹沢銈介の収集 —世界の仮面と衣装—	通常展	H30.12.12 ～ H31.3.18	81	4,610	57
115	令和元	芹沢銈介の屏風	通常展	H31.4.7 ～ R1.6.30	74	5,197	70
116		暮らしを彩る —芹沢銈介の生活デザイナー—	通常展	R1.7.14 ～ R1.11.24	114	7,496	66
117		芹沢銈介が愛した 椅子と木箱	通常展	R1.12.12 ～ R2.3.22	79	3,942	50
118	令和2	セリザワ・デザイン —和と洋の架け橋—	通常展	R2.4.5 ～ R2.7.5	41	1,537	37
				(臨時休館) R2.4.18 ～ R2.5.31			
119		生誕125年記念展 芹沢銈介 —模様をめぐる88年の旅—	通常展	R2.7.21 ～ R2.11.23	108	6,570	61
120		日本のかたち —芹沢銈介が集めた日本の工芸—	通常展	R2.12.9 ～ R3.3.21	79	3,887	49
121	令和3	芹沢銈介美術館開館40周年記念展 ～春編～ のれんときもの	通常展	R3.4.6 ～ R3.6.20	66	6,716	104
122		芹沢銈介美術館開館40周年記念展 ～夏編～ 芹沢銈介のブック・デザイン	通常展	R3.7.6 ～ R3.9.23	69	6,501	94
123		芹沢銈介美術館開館40周年記念展 ～秋編～ 芹沢銈介の日本	通常展	R3.10.9 ～ R3.12.12	54	6,424	120
124		芹沢銈介美術館開館40周年記念展 ～冬編～ ジャパン・ブルー 藍のある暮らし	通常展	R4.1.4 ～ R4.3.21	66	7,822	120
125	令和4	屏風と染絵額	通常展	R4.4.5 ～ R4.6.19	65	8,450	130
126		芹沢銈介の文字	通常展	R4.7.5 ～ R4.9.23	69	8,300	120
127		芹沢銈介と沖縄	通常展	R4.10.8 ～ R4.12.11	54	6,607	122
128		アイヌの衣装—迫力ある布の造形—	通常展	R5.1.4 ～ R5.3.19	64	8,600	134
129	令和5	芹沢銈介の絵本と挿絵	通常展	R5.4.4 ～ R5.6.18	66	7,838	118
130		暮らしにとけこむ型染 —芹沢染紙研究所の仕事—	通常展	R5.7.4 ～ R5.9.24	72	8,949	124
131		芹沢銈介ののれん	通常展	R5.10.7 ～ R5.12.10	55	7,183	130
132		芹沢銈介の収集 海外篇	通常展	R6.1.4 ～ R6.3.17	64	6,955	109
133	令和6	染色家の絵心 芹沢銈介の肉筆画	通常展	R6.4.2 ～ R6.6.16	66	7,875	119
134		日々を染める 型染カレンダーの仕事	通常展	R6.7.2 ～ R6.9.23	53	5,655	107
135		芹沢銈介没後40年記念展 型染 色と模様の翼	通常展	R6.10.6 ～ R6.12.8			
136		芹沢銈介の収集 日本篇	通常展	R7.1.4 ～ R7.3.16			
合 計					11,466	1,617,897	141

※令和6年8月31日現在

令和6年度 芹沢銈介美術館経営目標

1. 充実した内容の展覧会の実施

- 切り口が異なる、年4回の充実した展覧会の実施
- 毎回全館に200点以上の資料を展示
- 他館からの美術資料の借用

2. 芹沢銈介、芹沢銈介美術館の魅力発信

- 講演会の実施
- テレビ、雑誌等の取材への積極的な協力
- ホームページ、SNS、広報等を活用した普及活動
- 区役所等の市関連展示スペースを活用した出張展示
- 学芸員による市政出前講座等の実施

3. 美術館建築(石水館、芹沢銈介の家)の普及活動、保全

- 夜間開館イベントの実施
- 修繕の実施

4. 観覧者数の確保

- 安定した観覧者数の確保（今年度 30,500 人の確保が目標）
- スタンプカード、スタンプラリー、ワークショップの実施
- 適切なコロナ感染症対策の継続

5. 芹沢銈介専門の美術館としての継続的な基礎固め

- 収蔵資料の整理・保存
- 収蔵資料の体系的かつ網羅的な収集
- 基礎的研究の継続
- 図録の発行
- 美術館に関する資料の整理

令和6年度の主な美術館活動

(実績＋予定)

※9月8日以降実施予定のものは、先頭に＜予定＞と記しています

1. 充実した内容の展覧会の実施 ⇒ 9ページ

2. 芹沢銈介、芹沢銈介美術館の魅力発信

◎他博物館、美術館等との連携

- 巡回展「民藝 MINGE|—美は暮らしのなかにある」展への出品協力、展示立会い(20点出品、収集品＋参考資料)
⇒ 今年度は、世田谷美術館、富山県美術館、名古屋市美術館、福岡市博物館へ巡回
(参考) 昨年度は、大阪中之島美術館、いわき市立美術館、東広島市立美術館を巡回
- 日本民藝館「芹沢銈介の世界」展への出品協力(30点出品、作品＋収集品)
- ＜予定＞豊田市民芸館「アイヌの美しき手仕事」展への出品協力(33点出品、収集品)
- ＜予定＞巡回展「柚木沙弥郎 永遠のいま」展への出品協力(11点出品、参考資料)
⇒ 今年度は、岩手県立美術館、岡山県立美術館を巡回
- ＜予定＞当館展覧会「型染 色と模様の翼」展に、柏市、すずやから、美術資料を借用(計40点借用)
- ＜予定＞「するが文化の散歩道 スタンプラリー 2024」(10月～12月実施)
⇒ 焼津小泉八雲記念館、藤枝市郷土博物館・文学館、中勘助文学記念館、芹沢銈介美術館の4館をめぐるスタンプラリー ※2020年度から継続

◎取材への対応 ⇒ 資料②「当館掲載記事」

◎SNS、広報誌等の活用

- 公式 Twitter(フォロワー約1778人) ※2020年8月4日から継続

◎出張展示他

- 富士山静岡空港「空のしおり」ショールーム展示(4月末～9月末)
- 秘書課待合スペース展示「芹沢銈介のうchw」(7月9日～30日、2025年1月も予定) ※2020年度から継続
- ＜予定＞しずチカ(静岡駅北口)資料展示 (10月～11月)
- ＜予定＞駿河区役所資料展示 (11月1日～12月8日)

◎講演会等(学芸員による講演会、市政出前講座)

- 6月14日、市政出前講座「芹沢銈介の魅力」(飯田生涯学習交流館)
- 9月2日、市政出前講座「芹沢銈介の魅力」(静岡県立静岡高等学校)
- ＜予定＞9月21日、しずおか教師塾
- ＜予定＞10月26日、日本民藝館記念講演会「芹沢銈介と世界観」

3. 美術館建築(石水館、芹沢銈介の家)の保全、普及活動

◎普及活動、イベント

- <予定>「光の館 ヒカリノヤカタ 2024」(夜間開館イベント 10月12日・土) ※2019年度から継続
- <予定>「芹沢さんち お二階拝見」(2025年3月の2日間予定) ※2015年度から継続

◎燻蒸

- 6月20日、本館収蔵室および機械室、「芹沢銈介の家」の燻蒸

4. 観覧者数の確保

◎芹沢銈介美術館スタンプカード ※2011年度から継続

- 年4回の展覧会を観覧した方に、もれなく記念品を贈呈

◎ワークシート ※2012年度から継続

- 用紙に掲載されている作品を探すクイズ形式のシート。参加者に絵葉書(オリジナル、非売品)1枚を贈呈

5. 芹沢銈介専門美術館としての継続的な基礎固め

◎美術資料の購入・寄附 …… 資料 10 ページ

◎図録の出版

- <予定>図録『芹沢銈介の収集 14 日本の絵画』(3月刊行予定)
- <予定>図録『芹沢銈介 88 の作品でたどる 88 年の軌跡』(3月刊行予定)

◎学芸員の執筆

- ①「芹沢銈介没後 40 年記念展『型染 色と模様の翼』によせて」(「民藝」2024 年 9 月号、日本民藝協会)
- ②「柳宗悦と芹沢銈介 ー絵入り書簡をめぐってー」(「民藝」2024 年 9 月号、日本民藝協会)

2024年度 静岡市立芹沢銑介美術館 展覧会

染色家の絵心 芹沢銑介の肉筆画

2024年4月2日(火)～6月16日(日)

芹沢の型染の世界。
それは「絵」からはじまった。

少年のころから絵を得意とし画家を夢見ていた芹沢銑介。後に「型絵染」の重要無形文化財保持者（人間国宝）となり、世界的な作家としても評価されますが、その根底には少年時代から脈々と流れる絵心がありました。晩年になると「ガラス絵」や「板絵」などの絵画作品も積極的に制作し、また染色作品などの下絵を貼りこんだ「手控帖」は、画家バルテュスが「芹沢は魔法の手を持っている」と絶賛したほどでした。この展覧会では、ガラス絵、板絵、手控帖など、当館の所蔵品の中から、芹沢の絵画作品40点をご紹介します。

また展示室の後半には、芹沢銑介の収集品から、インド、エチオピア、ルーマニア、メキシコなどの「世界の絵画」50点を展示します。

2024年6月17日(月)～7月1日(月)まで、展示替のため休館します（全館休館）。

日々を染める 型染カレンダーの仕事

2024年7月2日(火)～9月23日(月・祝)

暮らしに灯った、
ほのぼのとした明かり。

染色家・芹沢銑介の仕事の中でも最もよく知られたものの一つが「型染カレンダー」です。戦争直後の1945（昭和20）年、空襲で焼け出された芹沢は、寄寓先の日本民藝館で和紙に型染した型染カレンダーの制作を始めました。1946（昭和21）年のカレンダーは100部ほどでしたが、ほどなく人気が高まり、やがて国内外に1万セット（12万枚）を頒布するほどになりました。芹沢は、型染カレンダーにあふれんばかりの模様とアイデアを盛り込み、制作は1984（昭和59）年まで39年にわたって続けられました。

芹沢の没後も復刻版が制作され、今年（2024年）分のカレンダーまで79年間も途切れることなく制作されてきました。その魅力を約20年分240点のカレンダーを通して振り返ります。

2024年9月24日(火)～10月5日(土)まで、展示替のため休館します（全館休館）。

芹沢銑介没後40年記念展

型染 色と模様の翼

2024年10月6日(日)～12月8日(日)

型染。それは芹沢にとって、
可能性のかたまりだった。

もともと画家志望だった芹沢銑介。20代にはいわばプロのデザイナーでしたが、34歳で染色家としてデビュー、翌年、型染を手掛けはじめ、以後型染を中軸に据えて制作活動に打ち込み、豊かな作品世界を残しました。デザイナーだった芹沢にとって型染は、全く新しい、可能性に満ちた世界でした。型染を新たな芸術のジャンルとして確立して世界的にも評価される一方、量産を前提とした型染の特性を活かし、暮らしの中にも型染の魅力を広げていきました。

型染という翼で、新しい美の開拓者としての生涯を生きた芹沢。没後40年を迎える今年、初期から最晩年までの代表作100点でその生涯の足跡をたどります。

2024年12月9日(月)～2025年1月3日(金)まで、展示替のため休館します（全館休館）。

芹沢銑介の収集 日本篇

2025年1月4日(土)～3月16日(日)

芹沢銑介が愛した
「日本」。

染色家・芹沢銑介は、世界の工芸品を集めた収集家としても広く知られています。芹沢の本格的な収集は、24歳の時にはじめた小絵馬収集が最初で、特に経済的に余裕が出て来た昭和40年代以降になると、驚くような勢いで収集をし、戦後集めたものだけで6000点に及びました。芹沢の収集の特徴は、徹底して自分が好きだと思うもの、よいと思うものだけを選めたことで、そのことにより、収集全体が芹沢の「もう一つの創造」へと昇華しています。この展覧会では、当館が所蔵する4500点の収集品の中から、芹沢が愛してやまなかった日本の品々200点をご紹介します。また、展示室の前半部分には、芹沢銑介の代表作50点もあわせて展示します。

2025年3月17日(月)～2025年3月31日(月)まで、展示替のため休館します（全館休館）。

令和6年度美術資料の購入・寄贈について

＜美術資料の購入＞ 今年度中に着物等の購入を計画している。⇒ 年度内に作品選定、評定

＜美術資料の寄附＞

納入年月日	台帳 番号	分類 番号	資料名	制作年	点数	寄附者
令和6年6月19日	2024 大橋 001~050		肉筆画、下染 型染見本、型紙等		50 点	大橋正芳
令和6年7月2日	2024 佐伯 001		伸びゆく静岡	1969 年	1 点	佐伯利榮

計 51 点

令和6年度美術資料の貸出・借用・受託について

＜美術資料の貸出＞

館 名	展覧会名	展示期間	貸出資料	点数
世田谷美術館	「民藝 MINGEI ー美は暮らしの中にある」	令和6年4月24日～6月30日	・ 収集品＋参考資料	20 点
富山県美術館	「民藝 MINGEI ー美は暮らしの中にある」	令和6年7月13日～9月23日	・ 収集品＋参考資料	20 点
名古屋市美術館	「民藝 MINGEI ー美は暮らしの中にある」	令和6年10月5日～12月22日	・ 収集品＋参考資料	20 点
福岡市博物館	「民藝 MINGEI ー美は暮らしの中にある」	令和7年2月8日～4月6日	・ 収集品＋参考資料	20 点
日本民藝館	「芹沢銈介の世界」	令和6年9月5日～11月20日	・ 作品＋収集品	30 点
豊田市民芸館	「アイヌの美しき手仕事」	令和6年10月12日～12月15日	・ 収集品（アイヌ関連資料）	33 点
岩手県立美術館	「柚木沙弥郎 永遠のいま」	令和6年10月19日～12月22日	・ 参考資料（柚木関連資料）	11 点
岡山県立美術館	「柚木沙弥郎 永遠のいま」	令和7年2月14日～3月23日	・ 参考資料（柚木関連資料）	11 点

計 8 会場にのべ 165 点貸出

＜美術資料の借用＞

館 名	展覧会名	展示期間	借用資料	点数
株式会社すずや 柏市	「型染 色と模様の翼」	令和6年10月6日～12月8日	のれん	15 点
			屏風、着物、間仕切等	25 点

計 2 か所から 40 点借用

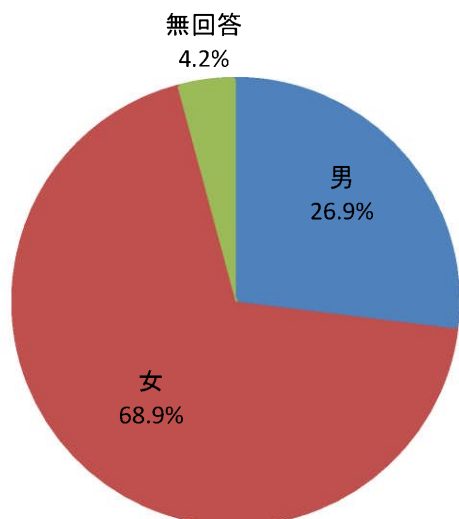
＜美術資料の受託（毎年更新）＞

寄託開始年月	資料名	点数	寄託者
平成26年3月～	・ いそば物語（掛軸）（133 回展で展示）	1 点	個人

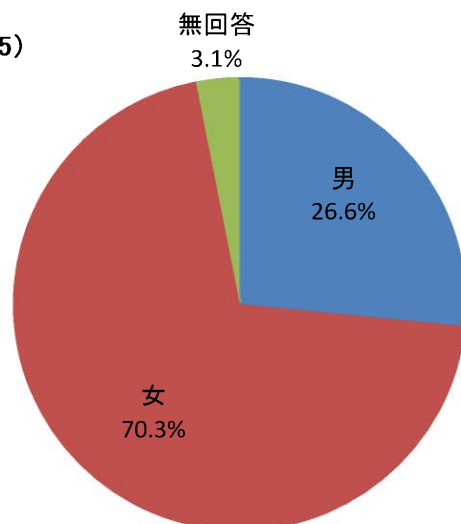
計 1 か所から 1 点

① 性別

(R6)

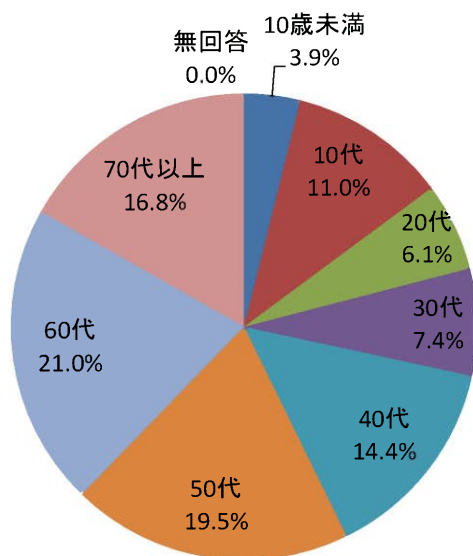


(R5)

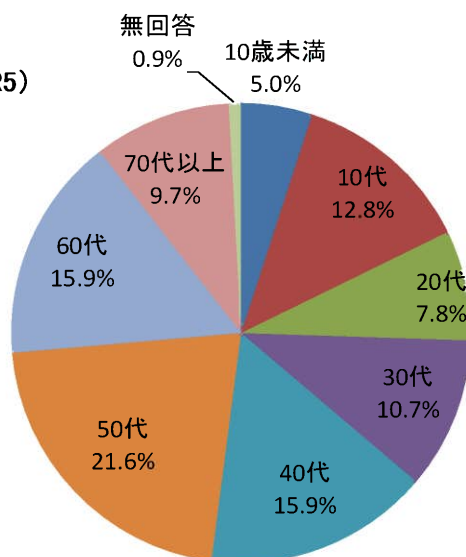


② 年齢

(R6)

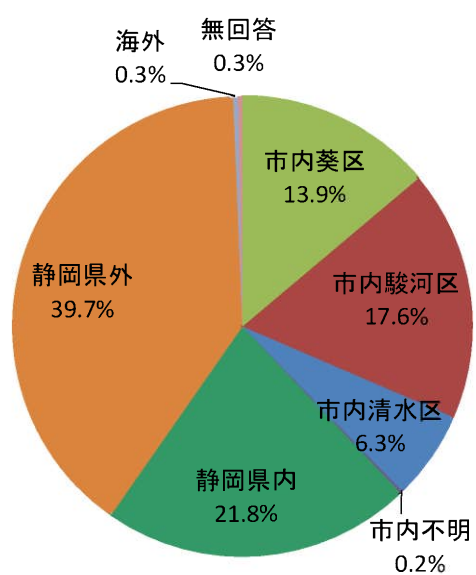


(R5)

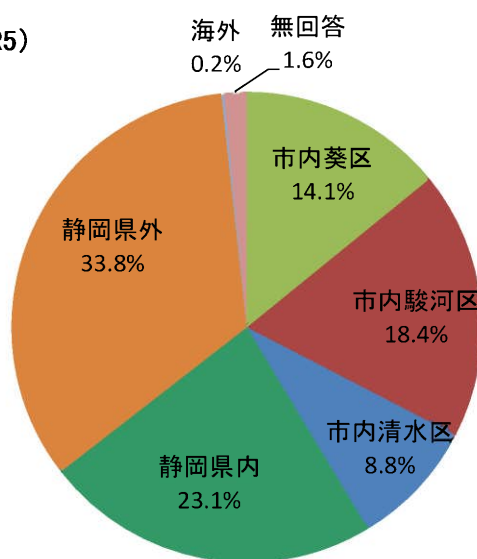


③ お住まい

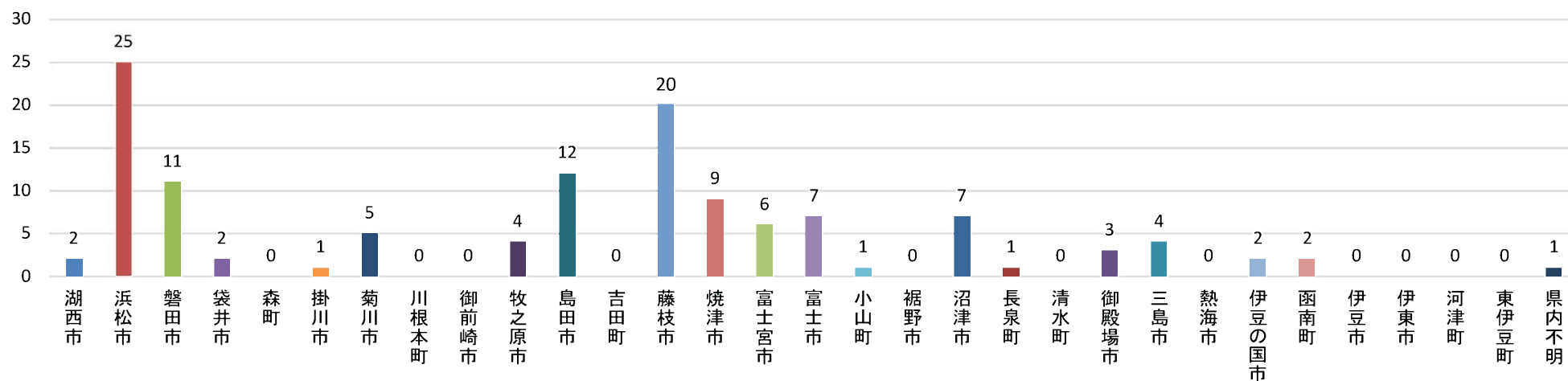
(R6)



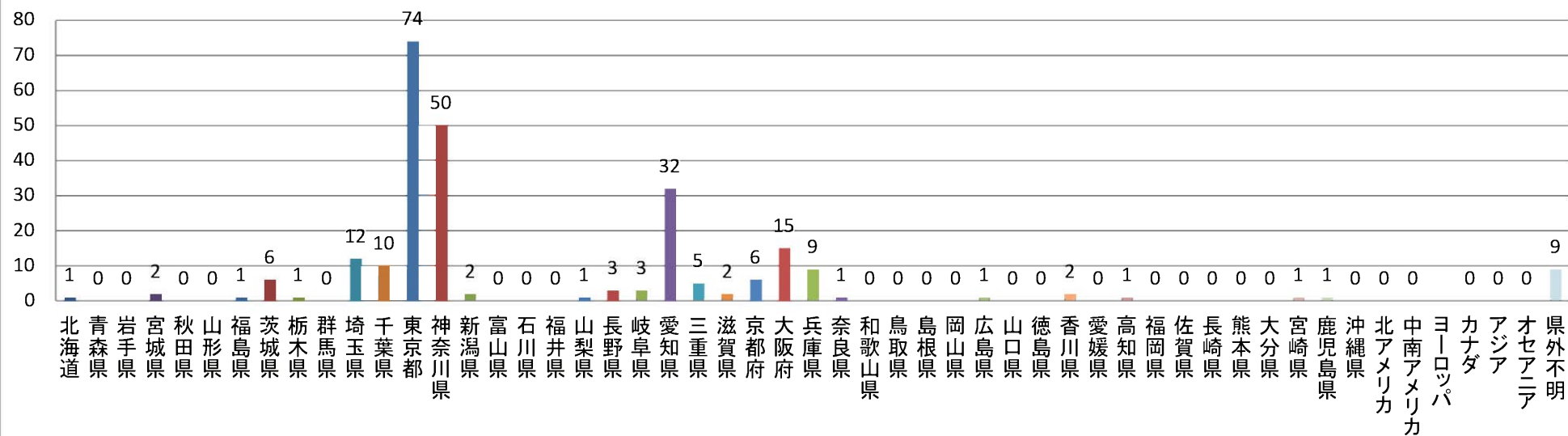
(R5)



静岡県内(総数125人)

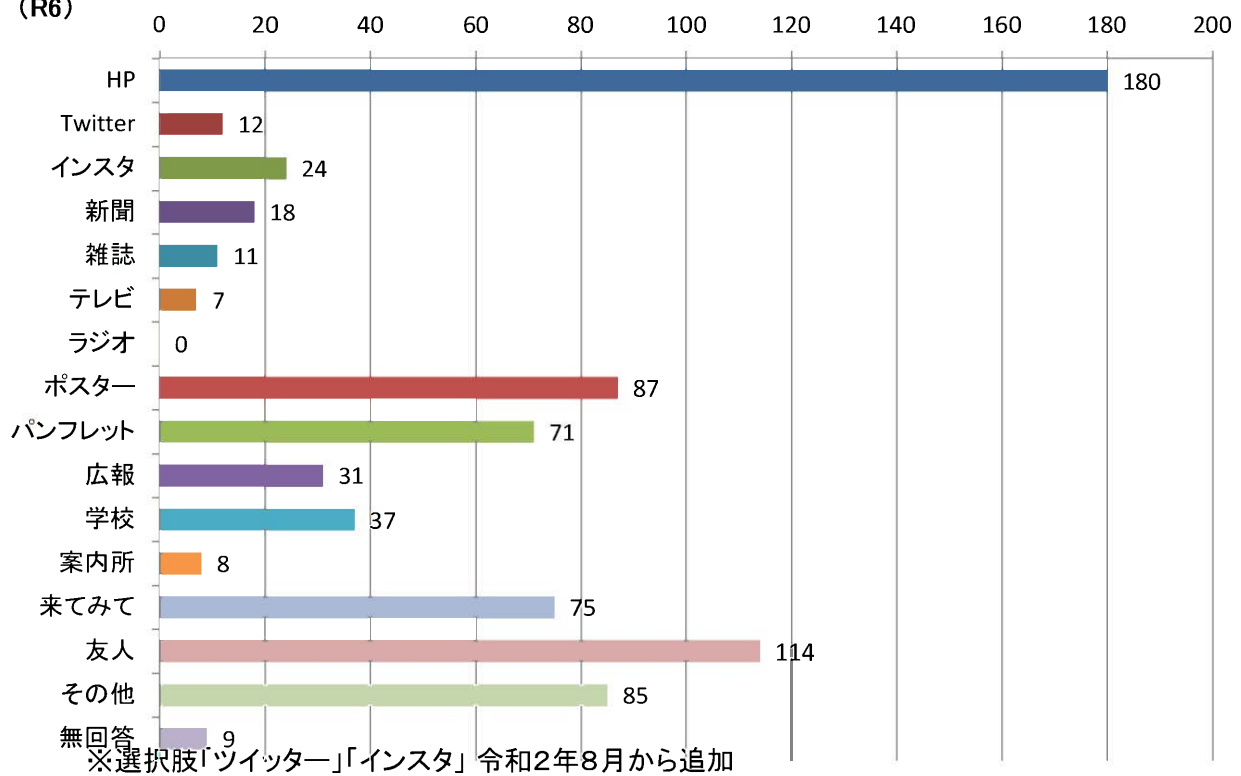


静岡県外(総数251人)

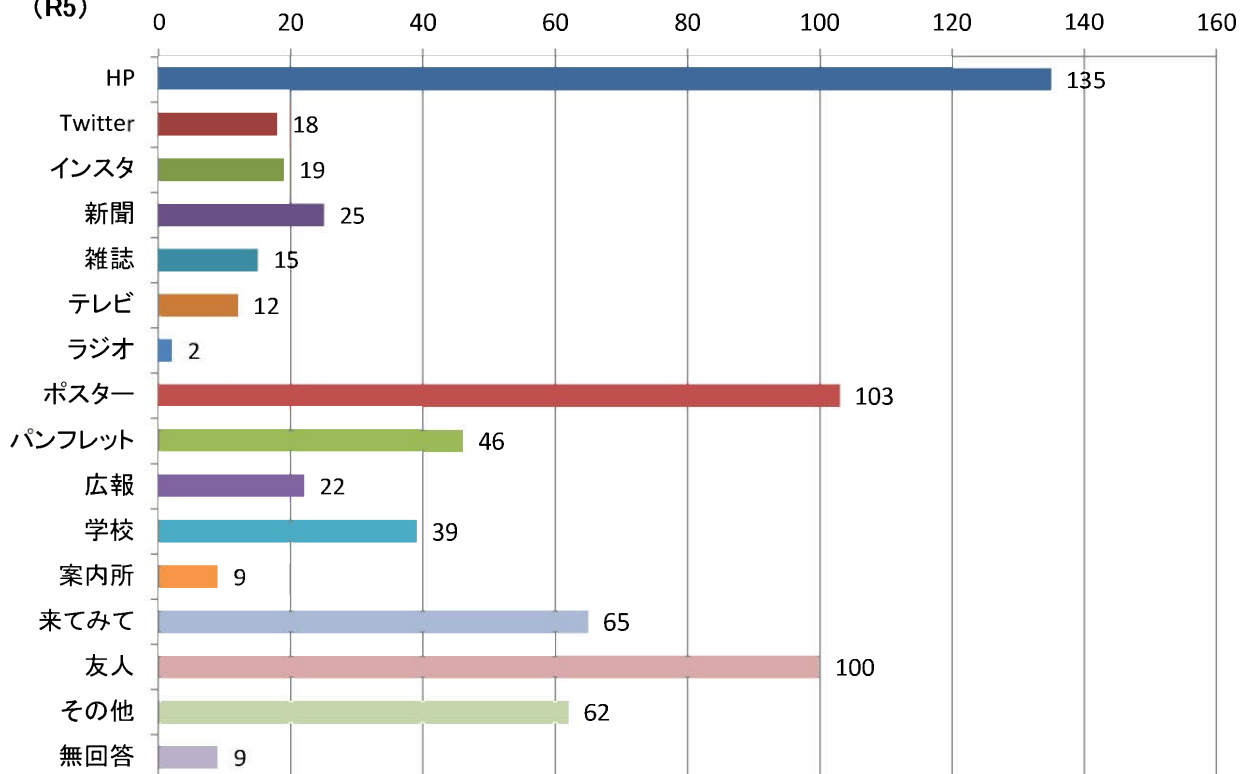


④ きっかけ

(R6)

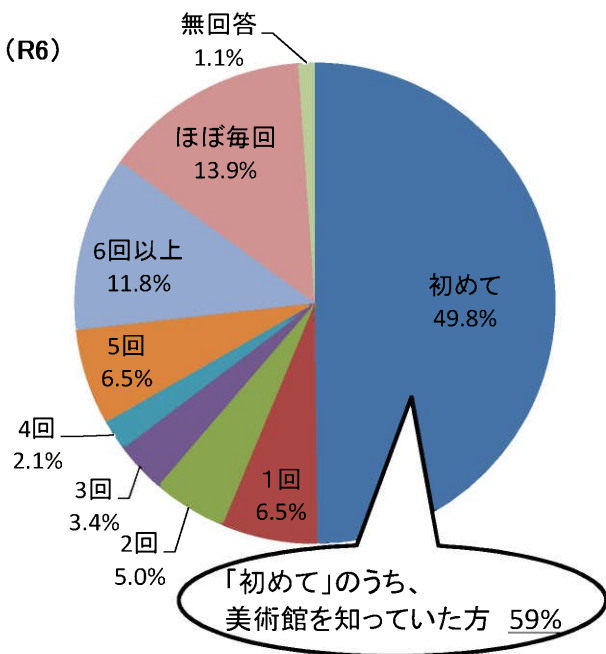


(R5)

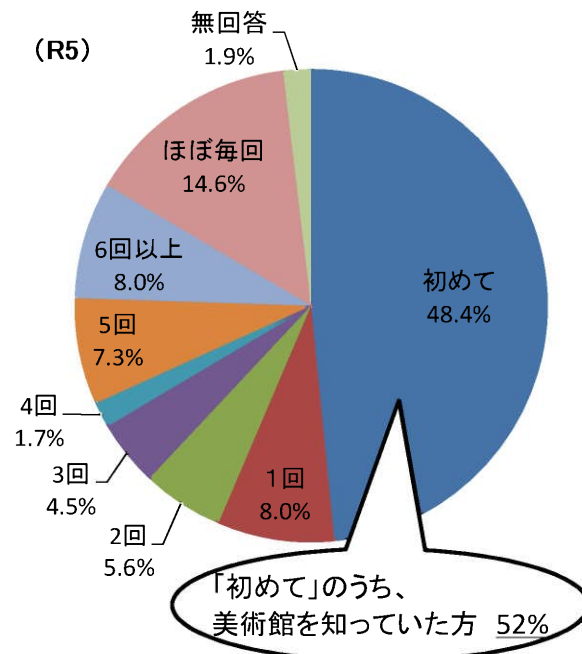


⑤ 来館回数

(R6)

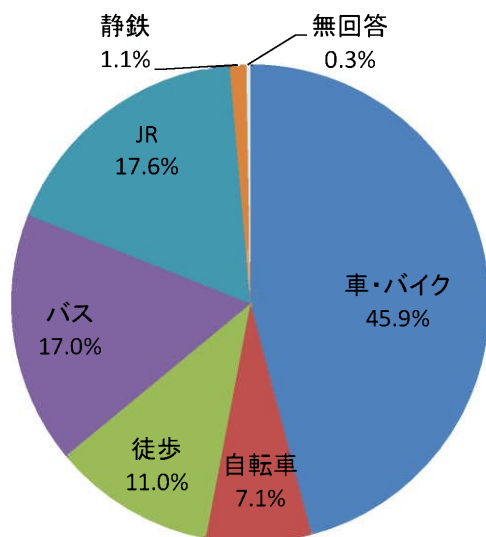


(R5)

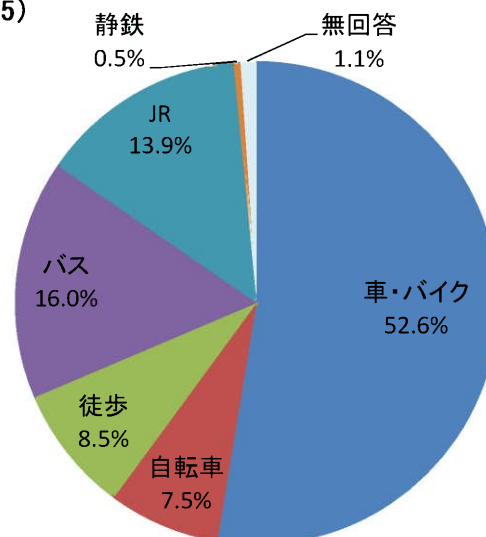


⑥ アクセス

(R6)

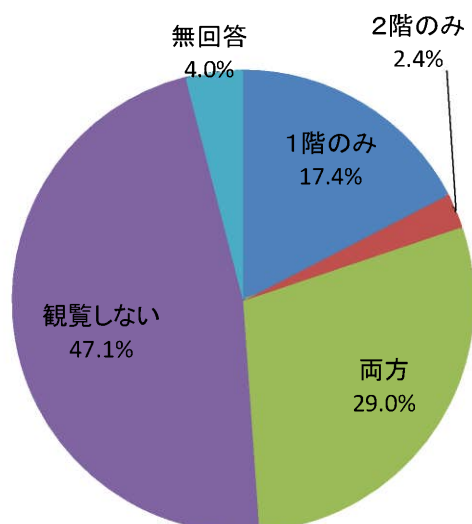


(R5)

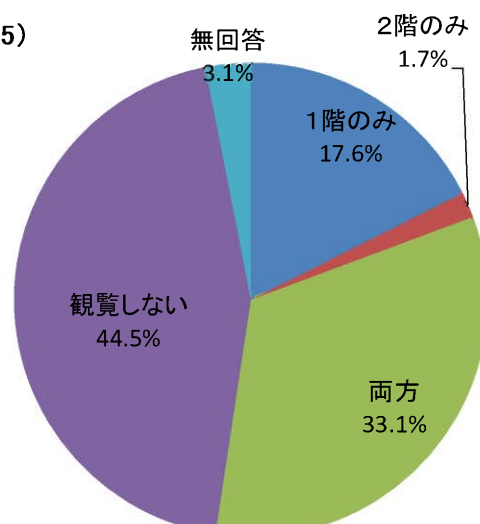


⑦ 登呂博物館の観覧

(R6)

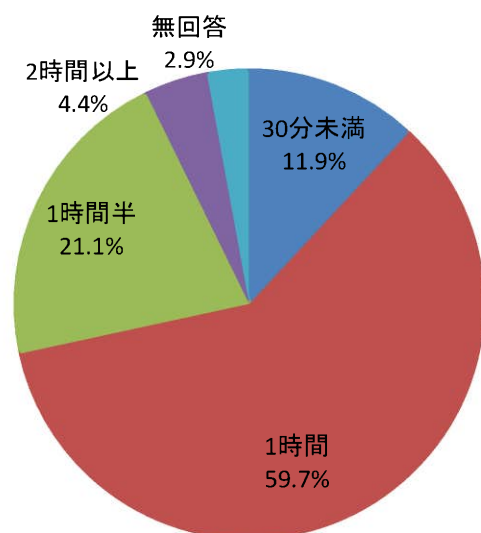


(R5)

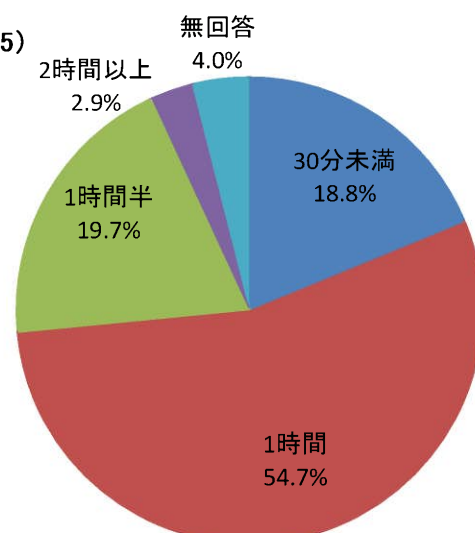


⑧ 観覧時間

(R6)

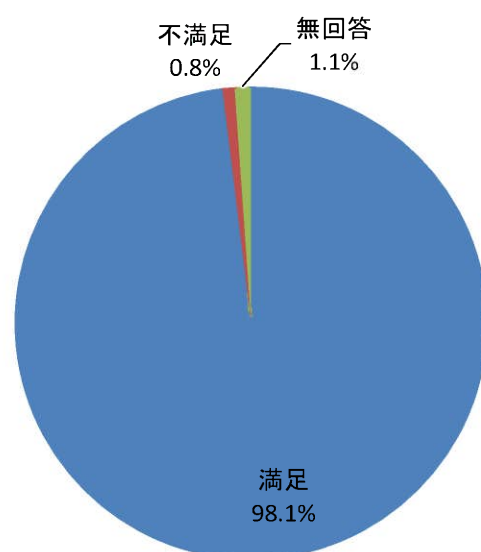


(R5)



⑨ 満足しましたか

(R6)



(R5)

